

太陽光発電システムの導入状況

1) 国の太陽光発電目標

新エネルギー調査会によれば、2002年度実績63.7万kWで、2010年目標を482万kW(2002年度の7.6倍)に設定しています。

2) 国内に設置できる潜在太陽光発電量(推定)

国内で設置可能な太陽電池の発電出力は7,300万kWで、内訳は住宅設備用が6,750万kW(全体の92.5%)、産業設備用が550万kW(全体の7.5%)で、圧倒的に戸建住宅の中にエネルギー資源が眠っていることが分かります。

7,300万kWの発電出力は、東京電力の現在の原子力発電の出力(1,730万kW)の4.2倍に相当します。推定からも分かりますように、太陽光発電は戸建住宅に眠っている自然エネルギーを引き出すのに適していることがご理解頂けると思います。

戸建住宅の数は、約2,525万戸で、内72%(1,825万戸)の住宅が日照時間5時間以上で、1戸当たり平均で3.7kW(太陽電池モジュール24枚前後)の太陽光発電システムが設置出来ると推定されています。

2006年エネルギー白書より

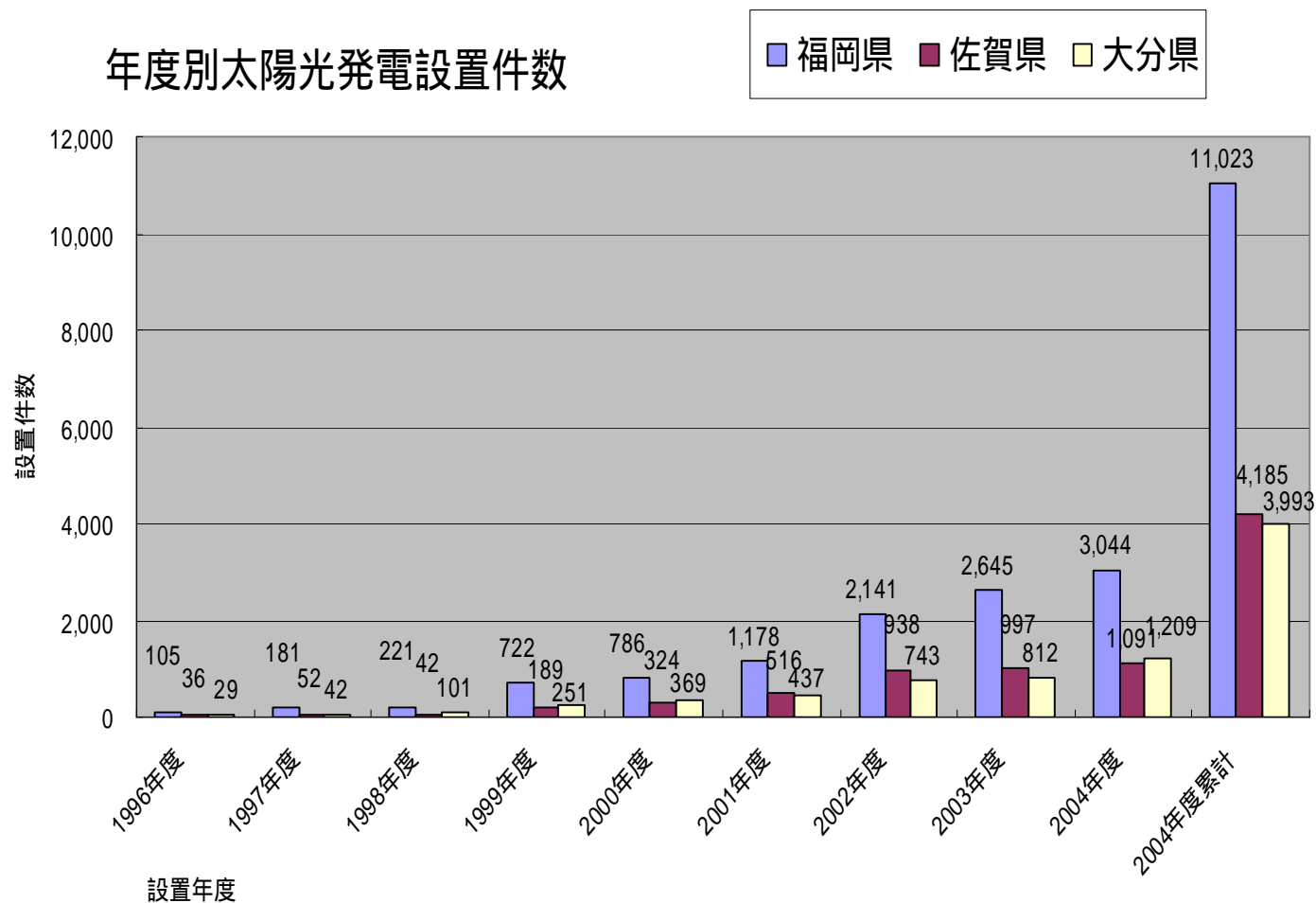
3) 世界の太陽光発電の導入状況(累積)



資料：IEA「Trends in Photovoltaic Applications」

* 但し、2003年度、2004年度の年間設置量では、日本が22.5万kW(2003年)から27万kW(2004年)と前年対比20%成長に対し、ドイツは15万kW(2003年)から36万kW(2004年)と前年対比140%成長し、年間設置量ではドイツが、日本を抜き、累計でも日本113万kWに対し、ドイツは79万kWと日本に迫ろうとしています。これは、ドイツ政府が、電力会社に自然エネルギーの高価買取を義務づけたことに起因しています。

4) 福岡県佐賀県大分県の太陽光発電システムの設置状況



*1996年度は、モニター事業期間1994～1996年度の累計

太陽光発電システム普及率

	戸建世帯数	2004年度累計	普及率	全国普及率順位
福岡県	859,197	11,023	1.28%	16
佐賀県	188,514	4,185	2.22%	1
大分県	271,897	3,993	1.47%	9

*上記グラフと表は、新エネルギー財団とシャープ(株)からの資料によります。

福岡県の太陽光発電システムの年間設置は、愛知県・兵庫県について全国3位になります。また、九州の普及率の平均は1.67%と高く、佐賀県は、普及率全国1位で戸建住宅45戸に1戸の割合で太陽光発電システムが設置されています。

これからは「電気は買うものから、電気は自給するもの」へと、人の意識も変化していくと思われま。

都道府県別モジュール発電出力 1kW当りの年間発生電力量

年間発生電力量(kWh/kw)	95/4~96/3	96/4~97/3	97/4~98/3	98/4~99/3	99/4~00/3	00/4~01/3	01/4~02/3	02/4~03/3	03/4~04/3	年間平均発生電力量
福岡県	854.05	940.21	903.8	907.69	946.81	990.46	975.17	1078.51	1047.45	960.46
佐賀県	981.68	1034.57	952.78	920.93	978.6	1060.33	1000.31	1113.33	1102.14	1016.07
大分県	801.67	877.83	917.98	917.58	931.49	929.06	999.45	1106.78	1035.18	946.34

上記資料の数値は、年を追う毎にほぼ発生発電量が増加していますが、これは温暖化の他に設置件数が増えた事により提供されるデータの数が増え、変動幅が小さくなりより平均値に近い値が出てきている為だと思われます。一般的には、発電出力1kW（モジュール枚数 6枚前後）の場合、年間の電力発生量を約1,000kWhと見て、光熱費試算をします。ただし、別紙で述べますが、陰になる障害物やモジュールの設置方向により電力発生量は大きく変化しますので、設置をされる前には必ず光熱費試算シミュレーションをお勧め致します。